

修理不可品に対する対応事例 (SONY Magnescale PU10電源)

JML 株式会社

SONY Magnescale製 電源ユニット修理不可対応

JML

1、製品名

SONY Magnescale Inc.製 デジタル表示ユニットの電源
モデル名 PU10-31-1
PU10A-1



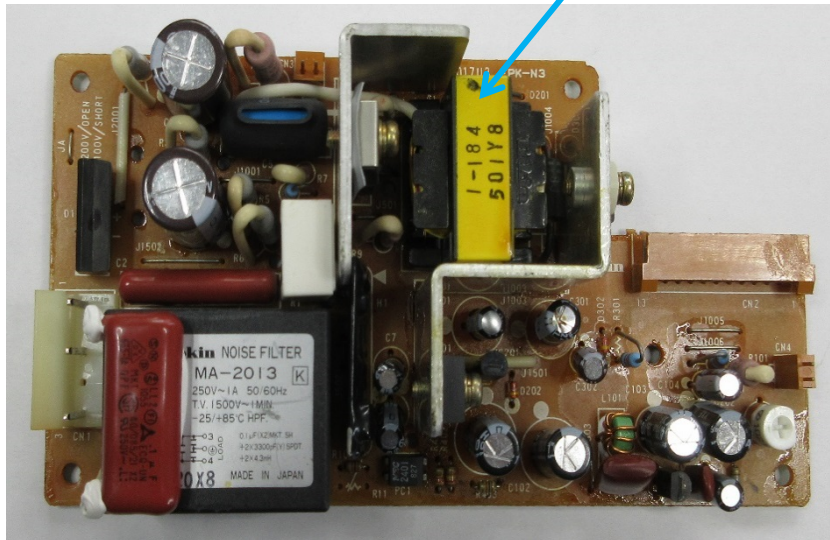
SONY Magnescale製 電源ユニット修理不可対応



2、修理不可の理由

寿命部品を交換して出力電圧を確認すると、出力側（2次側）に異常に高圧の電圧が発生している場合が確認できます。更に調査すると、メインの電源トランスの内部にて一部短絡していると判断されます。通常「レアショート」と呼ばれる現象です。さすがに電源トランスは販売しておらず、これ以上の修理は不可能ということになります。

メインの電源トランス（内部にて短絡している。）



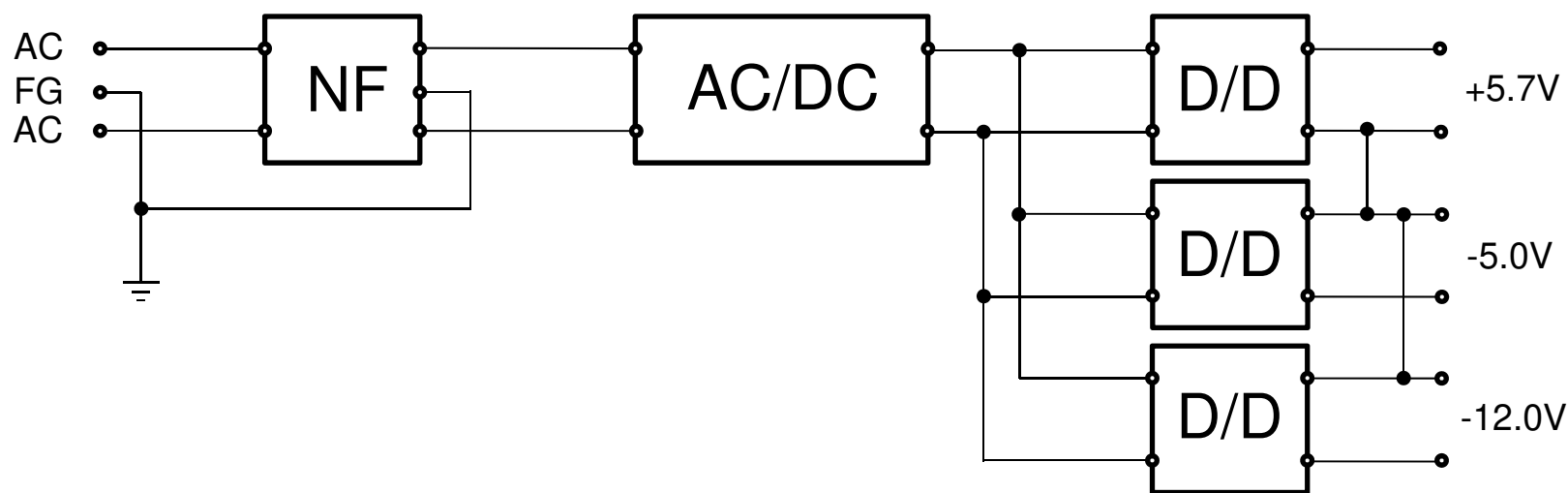
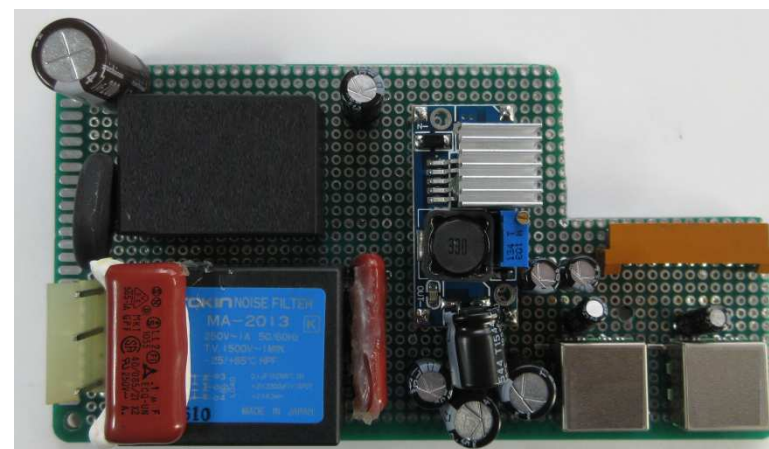
出力側には高圧電圧に伴う部品の破損（防爆弁の破裂や半導体の破壊）も確認ができます。

SONY Magnescale製 電源ユニット修理不可対応

JML

3、個別ユニットパーツにて同性能を回復

入力・出力コネクタとノイズ・フィルターの流用



SONY Magnescale製 電源ユニット修理不可対応

JML

4、改造後の製品



表示が無表示からセンサーなしのError表示点灯